

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況(連結)

平成15年7月30日

上場会社名 **日本車輛製造株式会社**

(コード番号: 7102)

(URL <http://www.n-sharyo.co.jp/>)

東証・名証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 松田 和久

(TEL:(052)882-3316)

責任者役職・氏名 総務部長 竹本 克彦

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

受注高の集計方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有・**無**

## 2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況(平成15年4月1日 ~ 平成15年6月30日)

(1) 受注高 (注)記載金額は百万円未満は切り捨てて表示しております。

期 間 \ セグメント	鉄道車両・ 輸送用機器 事業	建設機械 事業	鉄 構 事 業	その他 事 業	計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	4,401	4,042	196	1,349	9,988
15年3月期第1四半期					
(参考)15年3月期	40,469	13,345	17,258	11,573	82,647

(注)「四半期業績の概況」を初めて開示するため、前年同四半期の数値は記載しておりません。

### [ 受注高に関する補足説明 ]

当社グループは、主力製品の大半が受注製品であり、売上計上が建設業に類似するところもあります。また、従来から製品によっては受注後売上計上まで長期間にわたることや、売上が期末集中となる傾向もあります。従って、当社グループの四半期業績の概況を説明する指標として売上高は適切とは思われず、大型受注の時には一時的に突出する可能性もありますが、受注高を基本に置き、参考情報として受注残高を併記し、四半期業績の概況の報告と致します。

受注内容としては、鉄道車両・輸送用機器事業では、鉄道車両に大型案件はなく、車両基地の検修設備、民生用バルクローリ、ストレージタンクやタンクローリなどが主体で、建設機械事業では全回転圧入装置や杭打機など、鉄構事業では、道路橋・鉄道橋の架設や補修工事など、その他事業では集成材などを受注し、全体の受注高は9,988百万円となりました。

なお、当第1四半期末の受注残高は、114,918百万円となり、前期に引き続き高水準であります。その主な案件は、米国向け2階建て客車や台湾向け新幹線電車などがあります。

### (参考) 受注残高

期 間 \ セグメント	鉄道車両・ 輸送用機器 事業	建設機械 事業	鉄 構 事 業	その他 事 業	計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	80,734	3,535	23,655	6,993	114,918
15年3月期第1四半期					
(参考)15年3月期	79,969	1,907	23,756	6,614	112,246

( 2 ) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3 . 平成 1 6 年 3 月期の連結業績予想 ( 平成 1 5 年 4 月 1 日 ~ 平成 1 6 年 3 月 3 1 日 )

当初予想と変わりありません。

( 参考 )

平成 1 6 年 3 月期の連結業績予想 ( 平成 1 5 年 4 月 1 日 ~ 平成 1 6 年 3 月 3 1 日 )

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1 株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	39,000	300	180	1 24
通 期	85,000	1,300	750	5 18

以 上